

株主の皆様へ

2021年12月発行

PIOLAX

弾性を創造するパイオニア
Pioneer of Elasticity

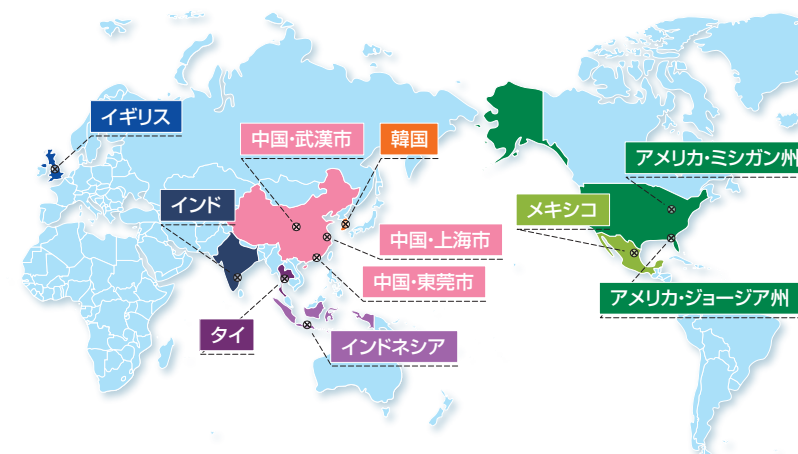
会社概要・株式の状況

■ 会社概要 (2021年9月30日現在)

設立 1939年9月24日
 資本金 29億6,097万円
 従業員 単体：596名
 連結：2,932名

本社所在地
 〒240-0023
 神奈川県横浜市保土ヶ谷区
 岩井町51番地
 TEL 045-731-1211 (代表)

■ グローバルネットワーク



■ 役員の状況 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	島津幸彦
代表取締役専務	永峯道男
取締役	鈴木徹
取締役	杉山晴光
取締役	増田茂
取締役	岡徹
取締役(監査等委員)	長村由紀夫
取締役(監査等委員)	浅野謙一
取締役(監査等委員)	小宮山 榮
(補)取締役(監査等委員)	會澤安生

■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行済株式総数 39,254,100株
 株主総数 7,687名

ホームページ
<https://www.piolax.co.jp/>

パイオラックス

■ 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内
 および特別口座の 一丁目4番1号
 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社
 証券代行部

0120-782-031 (フリーダイヤル)
 受付時間：土日祝を除く
 平日9:00～17:00



Q. 事業分野の9割を占める自動車関連分野について展望をお聞かせください。



自動車業界は100年に一度の変革期と言われ、CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）という言葉がキーワードになっています。自動車部品メーカーとしては、製品群が多く、既に納入実績もある電動化分野への期待は大きいですが、電動化に囚われず、CASE全てを商機と捉え、部品というハード面で貢献していきたいと思っています。CASEに対応した開発チームを立ち上げたほか、多様な試作品開発に着手し、次世代車への取り組みを推進していきます。

Q. もう一つの注力分野である医療事業についての展望はいかがでしょう。

自動車部品で培った「弾性」の技術を活用し、医療機器の開発・製造に取り組んでいます。手術治療においても、出来る限り体に傷を付けず、患者様の負担を減らした「低侵襲治療」が主流になりつつあります。当社の主力製品はそうした血管内治療・内視鏡治療に使用するためのカテーテルやガイドワイヤーなどです。全体に占める売上比率はまだ10%未満ですが、売上50億円の早期実現を目標に、自動車部品と並ぶ経営の柱に育てていきます。

Q. 当中間期の業績の概要についてお聞かせください。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、世界的な半導体需要の逼迫を受けて自動車メーカー各社の減産が顕著となり、また材料の供給問題・価格高騰、経済活性化に伴う輸送コストの増加等の影響を受けるなど依然厳しい状況ではありましたが、今期は昨年度のようなロックダウン等による生産減少、稼働停止等は発生しなかったことから、国内生産台数も前年と比較して大幅な増加となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進いたしました結果、売上高は28,003百万円と、前年同期比7,619百万円（37.4%）の増収となりました。一方利益面におきましては、増収による限界利益の増加に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、営業利益は2,996百万円（前年同期は3百万円の損失）、経常利益は3,521百万円（前年同期比403.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,525百万円（前年同期比422.4%増）となりました。

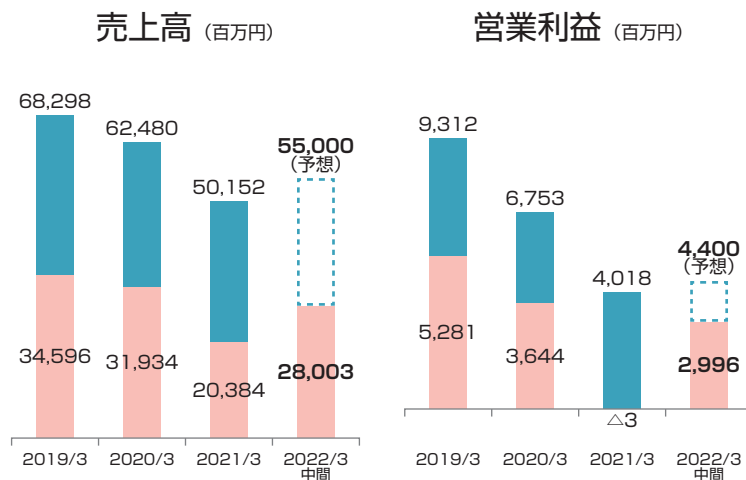
Q. 株主の皆様への還元についてお聞かせください。

当社は安定配当の継続をベースとしつつ、業績に裏付けられた弾力的な利益還元を行うことを利益配分の基本方針としております。また、事業展開の節目には記念配当を実施してまいりました。

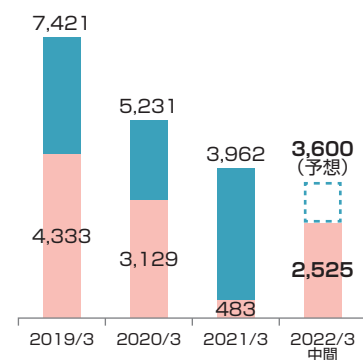
今後も業績を勘案しつつ、安定的な配当を実施してまいります。

財務ハイライト

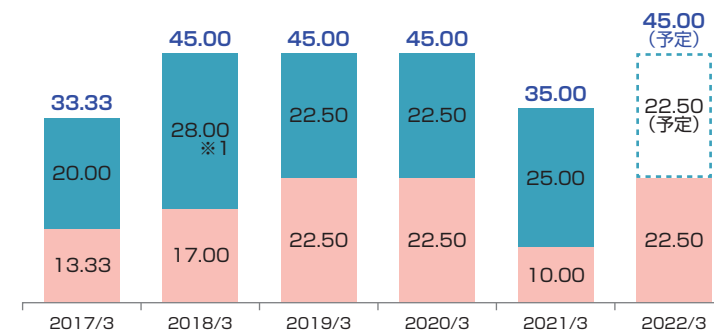
■ 連結通期
■ 連結中間



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (百万円)



配当について ■ 期末配当金(円) ■ 中間配当金(円)



※1：記念配当5.00円を含んでおります。
※2：配当は、2017年4月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を3株に分割）後の値に調整しております。

[自動車関連分野]

自動車関連は、パイオラックス全体の売上高の中でも約9割を占める主力分野です。1台の自動車ですら当社グループの製品が1,500個以上使用されるケースも珍しくありません。その内容は、精密ばね、樹脂ファスナー、それらを複合して組み立てた小型ユニット部品など、どれも自動車には不可欠な製品ばかりです。国内のカーメーカーをはじめ、欧米のカーメーカーとも取引があります。

■ ファスナー部品

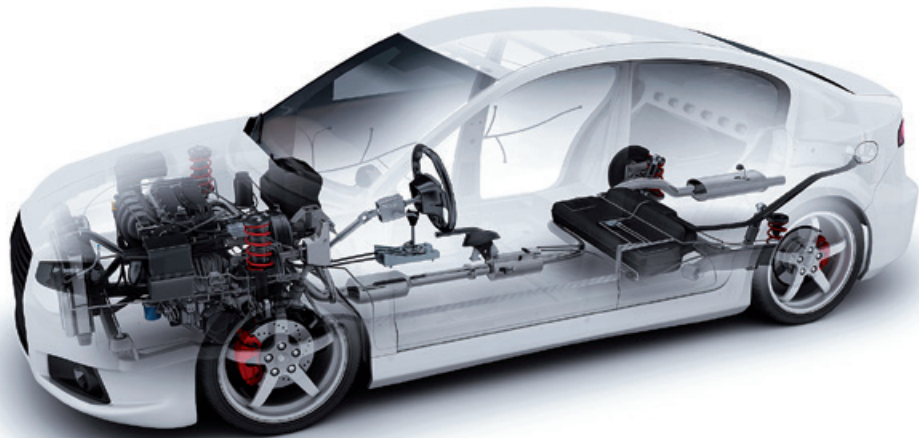


内外装部品の固定や電線を束ねる各種クリップ類、パイプとゴムホースの接合部で、漏れ・抜け止めを防ぐホースクランプなどがある。

■ 開閉機構部品



グローブボックスなどのオープン機構に用いられるエアダンパーやラッチなどがある。



■ 駆動系部品



トランスミッションなどの自動車の駆動機構に用いられるリテーナーASSYや部品保持力を高めるためのスナップリングなどがある。

■ 燃料系部品



燃料を安全で確実に給油・貯蔵・供給するために用いられる各種バルブ類を中心に、チューブ、フィルターなどがある。

[医療関連分野]

自動車部品製造で培った高度な弾性技術、表面処理技術などを応用し、医療機器分野においても、先進性のある製品を開発・製造・販売しております。

身体への負担が少ない「低侵襲治療」用の医療機器を開発し、弾性技術で医療に貢献することを目指しております。



◆新製品紹介◆

販売名：カバードバイルラッシュ アドバンス（胆管用金属ステント）

「手技を標準化するデバイスの開発」というビジョンの下、この度、胆管用金属ステントの周りにシリコンカバーを装着した「カバードバイルラッシュ アドバンス」を開発いたしました。金属ステントを体内に留置する際、医師が最も注意する点は「ステント留置時の位置決めと位置ズレ」です。留置の成功の可否は、医師の留置経験からくる技量差によっても大きく異なります。

この技量差を解消し、“手技の標準化”を目指し、胆管用カバード金属ステントとしては最細径のデリバリーシーブ（外径2.3mm）と位置ズレを起こし難いステントデザインを考案、留置時の課題解決が可能なカバードステントの開発に成功いたしました。多くの患者様の治療のお役に立てるよう、販売促進に努めております。



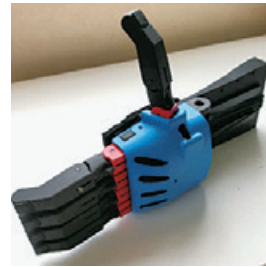
TOPICS
1

新規事業の発掘「筋電義手」開発

自動車、医療に続く第3の柱となる新規事業を発掘するため、当社の「弾性技術」を活用し、他業種との「筋電義手」の共同開発を推進しています。

〈開発の狙い〉
既存品の「重い・高い・見た目が悪い」から「軽い・安い・カッコイイ」へ

〈北九州大学との共同試作品〉
炭素素材により剛性を持ちながら、軽量化を図っています。

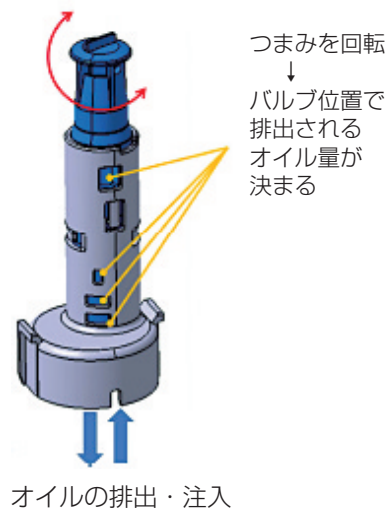


TOPICS
2

オートマチックオイル排出量調整機能付きオイル注入排出チューブ

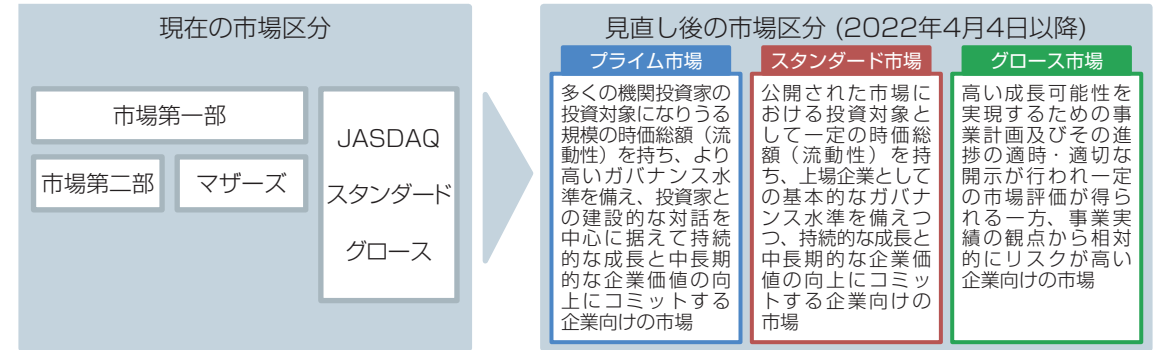
エンジンと連結しているオートマチックトランスミッションには、エンジンオイルとは別の専用オイルが使用されています。

オイル交換が必要な場合、従来は全てのオイルが廃棄されていましたが、オイルの状態に応じて交換に必要な最小限の量にとどめるバルブ機能を設けたチューブを開発したことで、廃油量を削減し、環境負荷低減を実現しました。



■新市場区分における「プライム市場」の選択申請に関するお知らせ

2022年4月4日に、東京証券取引所新市場区分への移行が予定されております。当社は、2021年7月9日付で東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認いたしました。この結果を受け、当社は新市場区分「プライム市場」を選択し、東京証券取引所に対して申請いたしました。



■自己株式の取得及び消却について

2021年11月9日プレスリリースの通り、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主の皆様への還元策の一環として、自己株式の取得及び消却を実施することといたしました。なお、11月30日付で、予定通り1,200,000株の自己株式の消却を実施しております。

■株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有して頂くことを目的として株主優待制度を実施しております。

〈優待制度〉

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上 300株未満	1年以上 3年未満	500円分のクオ・カードを贈呈
	3年以上	1,000円分のクオ・カードを贈呈
300株以上 1,000株未満	1年以上 3年未満	3,000円相当のグルメギフト券を1枚贈呈
	3年以上	上記に加え 2,000円分のクオ・カードを贈呈
1,000株以上	1年以上 3年未満	5,000円相当のグルメギフト券を1枚贈呈
	3年以上	上記に加え 2,000円分のクオ・カードを贈呈

慈善活動

2021年3月期の株主優待より、日本赤十字社への寄付を実施しております。この度、26名の株主様のご賛同をいただき、寄付金を日本赤十字社に全額寄付させていただきました。多くの株主様より温かいご芳志を賜り、心よりお礼を申し上げます。